（様式１）

地域公共交通計画

2024 年　　月　　日

（住所）長野市大字村山 471-1
（名称）長電バス株式会社
（代表者名）代表取締役社長　鈴木　立彦

１．幹線系統名、区間及び計画期間

系　統　名　：　牟礼線
運行区間　：　長野駅　～　本郷駅　～　牟礼
計画期間　：　2024 年 10 月 1 日～2027 年 9 月 30 日

２．運行系統の地域の公共交通における位置づけ・役割・必要性

(1) 長野市、飯綱町のバス路線沿線住民を中心とした通勤・通学者の利用のための移動手段
(2) 長野市、飯綱町のバス路線沿線住民を中心とした長野市内地への商業施設等への利用のための移動手段
(3) 長野市、飯綱町のバス路線沿線住民を中心とした長野市内の総合病院等の医療機関への通院のための移動手段
(4) 飯綱町内において中学校への通学利用のため

３．補助系統に係る事業及び実施主体の概要

事業：牟礼線の維持
実施主体：飯綱町地域公共交通活性化協議会、長野市公共交通活性化再生協議会、長電バス

４．定量的な目標・効果及び評価手法

（１）運行の目標

生活交通利用者に対する継続的な運行を提供するため利用者数及びニーズに即した運行形態を模索し、輸送量及び収入の目標達成を図る。
効率的な運行方法と利便性の両立を目指し、持続可能な交通体系を確立する。
＜定量的な目標＞　　2025 年度輸送量目標値　：　１８．１

（２）運行による効果

長野市内や牟礼駅への移動手段を確保維持することにより、移動制約者の日常生活を支え、特に高齢者を中心とした生活環境等の維持が図れるとともに、過疎化の進む中山間地域においての活性化につながることも期待される。

（３）評価手法

利用者数を把握するため、IC カード利用実績データを用いる。

５．補助系統の概要及び運送予定者

補助系統：牟礼線

運送予定者：長電バス

６．費用の総額、負担者、負担額

補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	自治体	事業者
2024.10～ 2025.9	17,089 千円	4,065 千円	4,065 千円	8,959 千円	

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

７．収益改善のために行った取組状況

（1）地域キロ当たり費用単価を大きく下回るキロ単価による費用改善

（2）2014 年 7 月　路線バス全線運賃改定による収益改善

（3）2018 年 10 月　長野市路線バスＩＣカードシステム導入に伴う交通サービスの利便性向上

（4）収支均衡を実施するため、自治体補助金による補填実施

（5）2020 年 4 月　系統番号・方向幕を一新し分かりやすい表示にした

（6）2021 年度から元日を全便運休とした

（7）2024 年 12 月　減便運行とする

８．生産性を向上する取組

（１）取組内容

・2024 年 10 月～11 月　土曜・祝日は 1 往復を継続（日曜は全便運休）
・2024 年 12 月　平日のみの運行に移行（土曜・日曜・祝日は全便運休）
・2025 年 3 月　運賃改定を実施
・2025 年 3 月　地域連携 IC カードを導入

（２）実施主体

飯綱町地域公共交通活性化協議会

長野市公共交通活性化再生協議会

長電バス

（３）定量的な効果目標

上記取組を実施することにより収支率、対前年１％以上の増加を目標とする

（４）実施に向けたスケジュール
・2024 年夏頃までに運賃改定の認可を得て、2025 年 3 月に運賃改定を実施。 ・2025 年 3 月の地域連携 IC カードシステムの導入に向けて準備を進める。
（５）実施時期
2025 年 3 月
（６）その他特記事項
・2024 年 12 月にダイヤ改正を予定。 ・2025 年 3 月に運賃改定を予定しているが、現時点では詳細が未決定のため、これについての内容が決まり次第、計画を作成し直し、公共交通会議で再度諮る予定。 ・2025 年 9 月を以って路線廃止を予定。また、それに伴い 2025 年度に牟礼線へ導入を予定していた県有民営車両取得計画は取り下げる。

９．広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について
【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表３に定める広域行政圏以外へアクセスする路線の場合に記入】

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住　所）長野市大字村山 471-1
（所　属）乗合バス課
（氏　名）武田　雄一
（電　話）026-295-8008
（ＦＡＸ）026-295-8060
（e-mail）rosenbus@nagadenbus.co.jp